

平成4年3月30日

豊島区住宅問題検討委員会中間報告

昨年8月に区長の諮問機関として設置された豊島区住宅問題検討委員会（委員長：鈴木成文・東京大学名誉教授）は、30日、加藤区長に対し、これまで6回にわたり検討してきた住宅施策の基本的な考え方及び、緊急に取り組むべき課題をまとめ、中間報告として提出した。

豊島区では、今後、12月に予定されている同委員会の最終報告を受けて、住宅対策を総合的に推進するための計画として、『豊島区住宅マスタープラン(仮称)』を策定する。

[住宅施策の目標と施策の方向に関する基本的な考え方]

1. 生活の豊さを実感できる住宅・住環境の創造
2. 地域にねざした住宅まちづくり
3. ファミリー世帯を対象とした定住対策の推進
4. 高齢者・障害者世帯などを対象とした住宅福祉の推進

[緊急に取り組むべき課題]

1. ワンルームマンション等建設基準の見直し
2. 住環境に寄与する開発指導要項の検討
3. 住宅供給型優良再開発の推進
4. ファミリー世帯への公的住宅の供給、借り上げによる公的賃貸住宅の供給
5. 建替え支援などによる定住促進
6. 高齢者世帯への居住継続支援の充実
7. 障害者世帯・ひとり親世帯への居住継続支援

問合せ 都市整備部 住宅対策担当課長